

令和7年度

支援だより

いなみ野

新年あけましておめでとうございます。地域の皆様には、日頃から変わらぬご理解とご協力、そして児童生徒たちへの温かい見守りをいただき、心より感謝申し上げます。

昨年も、子どもたちは毎日元気いっぱい学校生活を送り、たくさんの方に挑戦し、大きく成長することができました。

今年も、子どもたちの「やってみたい!」という気持ちを大切に、地域社会の一員として活躍できるよう、取り組んでまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。



学校行事予定



令和8年1月

7日(水) 始業式、11:40 下校

19日(月) 高2 現場実習 (~23日)

8日(木) あおの始業式

高1 校内実習 (~23日)

15日(木) 高2 現場実習事前面接

26日(月) 高2 現場実習 (~30日)

16日(金) 地震避難訓練

30日(金) 小中入学説明会

※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校 HPにてお知らせします。

いなみ野特別支援学校 HP

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QR コードはコチラ! ⇒



いなみ野の学習活動 高等部

12月4日・5日の2日間で作業学習班による「展示・販売」が行われました。高等部では、I類は3学年合同、II類は学年ごとに作業班を編成し週2回作業学習に取り組んでいます。この作業班は1年間同じ班(希望制)で学習します。それぞれの得手不得手に挑戦しながら働く力の基礎を学ぶため一生懸命頑張っています。



大量のパウンドケーキを焼き上げた食品加工班。暑い日も雨の日も作業をし、寒さにも負けず野菜を収穫した農耕班。凍える手を我慢しながらお客様に喜んでもらえるためにと考えながら丁寧に洗車をした清掃班。土づくり・播種から大事に花を育て、花壇づくりや花苗を作った園芸班。ミシンを使い、細部までこだわったペンケースや布製ボールなどを作った縫製班。機

械で木を切り、丁寧に磨きあげた木工班。キーホルダーは驚くほど滑らかに仕上がりました。どうすれば綺麗な布になるか工夫しながら織った布で様々な素敵な商品を作った織物班。総合作業班では、各学年とも持てる力を精一杯活用しながら協力し、今年も多種多様で素敵な商品を作ることができました。生徒たちが長い時間をかけ作ってきた商品を、この販売学習で多くのお客様に購入していただくことができました。



「すごいね。」「ありがとう。」など温かいお言葉をいただいたことも多く、生徒たちにとって自信に繋がり、働くことの第一歩としての貴重な体験ができた2日間となりました。

ちょっと

ひとやすみ

河村 曉著『理論に基づいた「学習」を目指して… 教室の中のワーキングメモリ 弱さのある子に配慮した支援』明治図書（2021年）

隣の部屋に鉛筆を取りに行き、何を取りに来たのか忘れてしまう。そして、なぜか元々いた場所に戻ると思い出せる——

“ワーキングメモリ”という言葉をご存知でしょうか。それは、日常生活や仕事、作業のために一時的に情報を覚えておく脳の働きのことを言います。教室で困り感のある子が、実はワーキングメモリの弱さを抱えていることがあるのです。

本書では、ワーキングメモリそのものについての解説から、ワーキングメモリの弱さに配慮した学習法、ワーキングメモリを「鍛える」アイデアが分かりやすく紹介されています。

まずは目の前の子どもの困り感が、ワーキングメモリの弱さによるものかどうか確かめる必要があります。本書によれば、ワーキングメモリには言語領域と視空間領域があるそうです。要は「言葉で覚えること」と「絵やイメージで覚えること」があるということです。言葉で覚える方が得意という子もいます。得意なこと苦手なことをカバーするというのは、生き方の一つとして有効です。本書にはワーキングメモリの弱さからくる困難さの例（漢字が覚えられない、読解が難しい、作文が難しい、算数障害、メモを取ることに難しいなど）が載っているので、必要な配慮や本人が工夫できることのヒントが分かります。※書影・書誌情報の掲載については出版社より許諾を得ています。



支援のタネ

教室では絵カードや文字カードを使った視覚支援をよく行います。予定の見通しがもてないと不安を感じるお子さんもいるので、絵カードを順番に貼っておき、活動の見通しをもてるようにしたりします。身近な物の名前を覚える目的で、ドアには「どあ」、机には「つくえ」と書いたカードを貼ったりもします。このように環境を整えることは、お子さんが安心して生活できることに直結します。お子さんに応じて、どのような工夫が必要かを考えています。

